

シチズングループの中期経営計画と事業活動

『シチズングローバルプラン2018』最終章 「真のグローバル企業」への最終ステップ

シチズングループは、世界で勝ち抜くグローバル企業になることを目指し、2013年より中期経営計画「シチズングローバルプラン2018」を開始しました。製造革新を進め収益力強化を図るとともに、時計事業を中心とし、工作機械事業を第2の柱とした新たな成長戦略を推進したことで、前半の3カ年は順調に推移をしましたが、後半の3カ年は外部環境の変化等に

影響を受けたことにより、目標達成は不透明な状況にあります。最終年度である2018年度は、新たな成長領域の模索にも着手するとともに、次期中期経営計画の助走期間と位置づけ、事業横断的に、シチズングループとしてのシナジーを発揮し、グループ一体体制を強化していきます。

中期経営計画 事業ポートフォリオ

- 時計事業
改めて**グループ成長の核**と位置づける
- 工作機械事業
時計事業に次ぐ**第2の柱**へと育成
- 小型精密部品事業
次なる成長事業へ
- デバイス / 電子機器 / その他事業
利益向上による経営の安定
1. 体質の強化 2. 勝てる製品への集中 3. 他社との連携強化

2018年度重点課題

2018年度を新中期経営計画の助走期間と位置付け、次なる取り組みを加速

Top Lineを上げる

ボリュームゾーンの市場シェアと数量の拡大

消費者との接点である
流通への対応力を強化する

セグメンテーション戦略

マルチブランド戦略の深化

成長に向けた投資を加速

米国ディズニーリゾートと公式時計契約を締結

- ・ 世界中の幅広い世代のブランド認知度向上へ
- ・ 米国外のディズニーリゾートへ提携拡大を交渉中

製造革新と合理化等に伴う設備投資

多様化するニーズへ対応する製造革新

更なる製造力の
強化を図る

- ムーブメント
- 完成品の生産性向上
- 自動化の推進
- 生産工程の効率化
- 検査の合理化
- ・ 部品及び製品の徹底したコストダウン
- ・ 部品加工の自動化及び合理化
- ・ 最適生産方法の構築

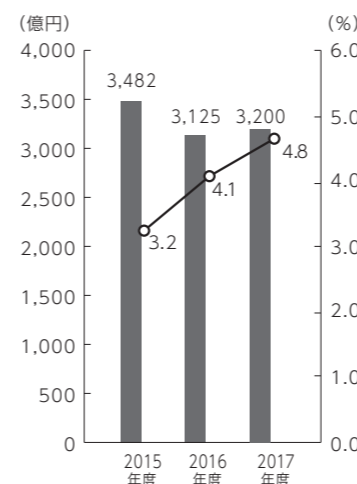
シチズングループの財務実績

2017年度は、緩やかな回復傾向にある国内経済や、雇用環境の改善が続き回復の兆しを示す米国、英国のEU離脱による見通し不透明な欧州、中国をはじめとして景気を持ち直し基調が見られるアジアなどの経済状況の中、中期経営計画のもと製造革新を進め収益力強化を図るとともに、真のグローバル

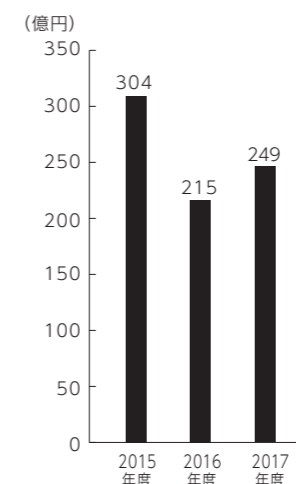
企業となるべく時計事業を中心に新たな成長戦略を推進してまいりました。

その結果、売上高は3,200億円、営業利益は249億円と増収増益となりました。また、経常利益は266億円、親会社株主に帰属する当期純利益は193億円となり、ROAは4.8%となりました。

収益性情報

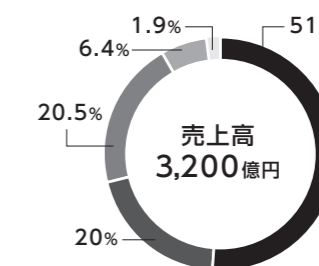


■ …売上高(億円) ○…ROA(%)



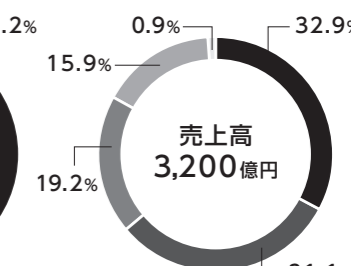
■ …営業利益(億円)

事業別売上高比率



■ …時計事業
■ …工作機械事業
■ …デバイス事業
■ …電子機器事業
□ …その他の事業

地域別売上高比率



■ …日本
■ …アジア
■ …アメリカ
■ …ヨーロッパ
□ …その他

2018年3月時点

シチズングループの事業基盤

シチズングループでは、創業以来、時計事業を通じて培ってきた、製品をより小さく精密にする技術や、消費電力の少ない製品づくり等、シチズングループならではの高い技術を活用し、他のコア事業においても新たな価値を提供しています。

その他の事業

シチズングループならではの精密技術を活かしてつくられる高品質なジュエリーは、永く身に付けられ、日常を彩るものとして、多くの人々に愛されています。また、アイススケート場等の運営を行って、市民の憩いの場づくりにも貢献しています。

電子機器事業

時計事業から引き継いだ精密加工・組立技術を活用してつくられたPOS・バーコードプリンターと高精細デジタルフォトプリンターは、各種店舗や工場など、社会の様々な場面で活躍しています。また、電子血圧計や電子体温計を中心としたヘルスケア製品は、人々の健康管理をサポートし、健やかな暮らしづくりに貢献しています。

デバイス事業

照明用LEDや、スマートフォンのスイッチ、液晶などの身近な電子機器等に組み込まれる部品であるデバイスの製造には、時計事業で培ったシチズンならではの精密技術が活かされています。製品の低消費電力化と長寿命化を可能にし、人々の生活をより便利で快適にするだけでなく、地球環境への負担も軽減します。

時計事業

世界中で愛される時計づくりを目指してきたシチズングループにとって、時計はものづくりの原点です。現在も多くのの方々から支持される光発電技術「エコ・ドライブ」など、世界初の革新的な製品をはじめとし、新たな機能を備えたモデルも生み出し続けています。

工作機械事業

医療や自動車、ITなど幅広い業界で必要不可欠な部品をつくる工作機械は、今日の技術の進歩や社会の発展を支えています。変化の時代において多様化するニーズに応える細やかな技術を発揮しています。

